

予防接種の 受け方

ワクチンは子どもたちを感染症から守るためにとても大切なものです。子どもたちの健康づくりのために、ぜひワクチン接種を受けて下さい。

生後2か月が「ワクチンデビュー」。多くのワクチンがあります。2023年度から四種混合の接種も始まります。

時々母子手帳を開いて、受け忘れたワクチンがないか確認することも大切です。



他のワクチンとの間隔

2020年10月より、種類の違うワクチンを受ける際の間隔についての制限が大幅に緩和されました。

注射生ワクチン同士では効果が減弱することがあるため**4週間(中27日)以上あける**ことになっていますが、これは変更がありません。

その他の場合は接種間隔について、制限はすべてなくなりました。例えば不活化ワクチン、経口生ワクチン接種後に日数をおかず、他のワクチンの接種を受けることができます。注射生ワクチン接種後についても、不活化ワクチンと経口生ワクチンであれば制限はありません。

ただし、新型コロナワクチンについては、インフルエンザをのぞいて前後2週間ずつは他のワクチン接種ができません。

【参考】

○注射生ワクチン：BCG、麻疹・風疹混合、おたふくかぜ、水痘など

○経口生ワクチン：ロタウイルス

○不活化ワクチン：ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、日本脳炎、インフルエンザ、B型肝炎など



